⑤ 建具改修工事

① 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具	・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具	―	・	・建具表による ・
◯鋼製建具 ・外部	・	・	・建具表による ・
◯内部	・	◯	◯建具表による ・
◯鋼製軽量建具	・	◯	◯建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
・木製建具	・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

② 防火戸 [5.1.4]

適用箇所　※建具表による　・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　・行う（※建具表による　・　　）　◯行わない

3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　・行わない
建具見本製作の目的等：（　　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　・行わない

4 防犯建物部品 [5.1.7]

適用箇所（・建具表による　・　　）

5 アルミニウム製建具

性能値等 [5.2.2～5][表5.2.1、2]
　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　気密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　水密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-3	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5			※図示による
・Ｃ種	S-6	A-4	W-5	※図示による

防音ドア、防音サッシ
　遮音性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　断熱性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
枠の見込み寸法　※建具表による
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　表面処理
　　外部に面する建具　種別　・BB-1種　・BB-2種　・
　　着色　・標準色　・特注色
　　屋内の建具　種別　・BC-1種　・BC-2種　・
　　着色　・標準色　・特注色
　結露水の処理方法　・水貯め式　・排水式
工法
　水切り板、ぜん板等　※図示　・

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具

性能値等 [5.2.2][5.3.2～5]
　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　気密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　水密性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-4	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5		W-5	※図示による
・Ｃ種	S-6			※図示による

防音ドア、防音サッシ
　遮音性の等級　・T-1　・T-2（適用する建具　※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　断熱性の等級　・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8
　（適用する建具　※建具表による）
　外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
　枠の見込み寸法　※建具表による
材料
　ガラス　※複層ガラス　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　表面色　・標準色　・特注色
工法
　水切り板、ぜん板　※図示　・

⑧ 鋼製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]
　簡易気密型ドアセット
　　・適用する（※建具表による　・　　）◯適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性
　　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　防音ドア、防音サッシ
　　遮音性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　　断熱性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　耐震ドア
　　面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
　　（適用する建具　※建具表による）
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ
　　大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
　　※建具表による　・
　　上記以外の鋼製建具　※[表5.4.2]による　・建具表による　・
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

⑨ 鋼製軽量建具

性能値等 [5.2.2][5.5.2～4]
　簡易気密型ドアセット
　　・適用する（※建具表による　・　　）◯適用しない
　防音ドア、防音サッシ
　　遮音性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　　断熱性の等級　（　　）（適用する建具　※建具表による）
　耐震ドア
　　面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
　　（適用する建具　※建具表による）
材料
　鋼板　◯亜鉛めっき鋼板　・ﾋﾞﾆﾙ被膜鋼板　・ｶﾗｰ鋼板　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ
　　大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)
　　※建具表による　・
　　上記以外の鋼製軽量建具　※[表5.5.1]による　・建具表による　・
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

10 ステンレス製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]
　簡易気密型ドアセット
　　・適用する（※建具表による　・　　）・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性
　　耐風圧性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　防音ドア、防音サッシ
　　遮音性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ
　　断熱性の等級（　　）（適用する建具　※建具表による）
　耐震ドア
　　面内変形追随性の等級（・D-1:1/300　・D-2:1/120　・D-3:1/100　）
　　（適用する建具　※建具表による）
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※ＨＬ　・
形状及び仕上げ
　表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
工法
　ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

11 木製建具 [5.7.2～4]

建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

・フラッシュ戸
　表面材のホルムアルデヒド放散量等
　　※改修標準仕様書5.7.2(2)(ｲ)(a)による　・

　表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 Ⓖ	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・天然木化粧合板 Ⓖ	樹種名（　　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・特殊加工化粧合板 Ⓖ	化粧加工の方法 　※プリント 　・ポリエステル化粧合板 　・メラミン化粧合板 　・ 接着の程度（・１類　・２類）	
・MDF Ⓖ		

　表面板の厚さ　※[表5.7.6]による　・
　引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
　　・適用しない　・適用する

・かまち戸
　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による　・

・ふすま
　張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
　上張り(押入等の裏側以外)　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
　縁仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・

・戸ぶすま
　表面板の仕上　・建具表による　・
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

・紙張り障子
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

　枠及びくつずりの材料　・建具表による　・

⑫ 建具用金物 [5.8.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
　※[表5.8.1]及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※[表5.8.2]による　・建具表による　・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※[表5.8.3]による　・建具表による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※[表5.8.4]による　・建具表による　・
木製建具に使用する戸車及びレール
　※[表5.8.5]による　・建具表による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
　・建具表による　・図示　・
錠前類
　シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
　クローザ類

13 鍵

マスターキー　・製作する(・新規　・既存マスター合わせ)　・製作しない　[5.8.4]
その他の鍵　※各室３本１組（室名札付き）　・
鍵箱　・無　・有

14 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 [5.9.2、3]
　・建具表による　・
・引き戸用駆動装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.1による　(防錆　・適用する　・適用しない)
　　・種類・開閉方式（　　）　・耐電圧（　　）
　　・温度上昇（　　）　・耐久性(サイクル)（　　）
　　・防錆（　　）　・電源（　　）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.2による　(防錆　・適用する　・適用しない)
　　・耐電圧（　　）　・温度上昇（　　）
　　・耐久性(サイクル)（　　）・防錆（　　）
　　・電源（　　）
・引き戸用検出装置
　性能値
　　※改修標準仕様書表5.9.3による　(防錆　・適用する　・適用しない)
　　・耐電圧（　　）　・防錆（　　）
　　・防滴（　　）　・電源（　　）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目　・建具表による　・
　タッチスイッチの種類
　　・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
　車椅子使用者用便房スイッチの種類
　　・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置　・行う　・行わない

⑮ 自閉式上吊り引戸装置

性能　※[表5.10.1]による　・ [5.10.3]

16 重量シャッター

シャッターの種類 [5.11.2、3]
　・管理用シャッター
　・外壁用防火シャッター
　・屋内用防火シャッター
　・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
　電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
　（設置箇所　・建具表による　・　　）
　電動式シャッターの障害物感知装置
　（設置箇所　・建具表による　・　　）
　屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
　（設置箇所　・建具表による　・　　）
　管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
　スラット及びシャッターケース用鋼板の材質
　　種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

17 軽量シャッター

開閉形式の種類　・電動式（手動併用）　※手動式 [5.12.2～4]
耐風圧強度（　　）Pa
安全装置
　電動シャッターの障害物感知装置　（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量（※Z06又はF06　・　　）
　・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
　　めっき付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）

19 ガラス [3.7][5.14.2～4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

・フロート板ガラス	
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による　・
・型板ガラス	
型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による　・
・網入板ガラス	
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類	※建具表による　・
・合わせガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による　・
形状による種類	・平面合わせｶﾞﾗｽ・曲面合わせｶﾞﾗｽ
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
・強化ガラス	
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による　・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス	
板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による　・
性能による種類	・１種　・２種
・複層ガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による　・
断熱性による区分	・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G　・S
乾燥気体の種類	・空気　・アルゴン
・熱線反射ガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による　・
日射熱遮へい性による区分	・１種　・２種　・３種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が２種の場合）	・Ａ種　・Ｂ種
・倍強度ガラス	
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による　・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

20 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

　壁用金属枠及び補強材の材質及び形状　※図示　・
　力骨　材質　※ステンレス鋼(SUS304)　・
　　寸法　※径5.5mm　・
　　形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
　化粧目地モルタルの色　・白　・グレー
　シーリングの種類　・SR-1　・PS-1
　金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
　　寸法　※図示　・
　　形状　※図示　・
　目地部の横力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

21 ガラス用フィルム

※施工箇所は建具表による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム Ⓖ	※SC-1	・SC-2	可視光線透過率：65%以上
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

　品質　JIS A 5759 による
　熱割れ計算書　※要　・不要
　第3者機関による性能測定データ　※要　・不要

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
天井の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
　※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※既存のまま　・図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも）
　・下地モルタルとも（・図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「４章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置　※図示）
　・図示　・

④ 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

5 製材 Ⓖ

・JAS 1083-5　製材・第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種　・B種　・		・
		※2級 ・	※A種　・B種　・		・

・JAS 1083-2　製材・第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種　・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種　・		・
			※A種　・B種　・		・

・JAS 1083-6　製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		（　　） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない	・
		（　　） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない	・

6 造作用集成材 Ⓖ

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等　・２等	・
					※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							※１等 ・２等	・
							※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下　・	・
				※15%以下　・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下 ・	・
						※15%以下 ・	・

7 造作用単板積層材 Ⓖ

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・する ・しない	・
			※14%以下 ・	・する ・しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

R7.1(Ver.R6-2)